

### 平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	移住者目線による地域観光資源の磨き上げ・発信事業
事業主体(連絡先)	佐久広域連合 (0267-62-7721)
事業区分	(6) ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	5,664,880円(うち支援金:3,000,000円)

#### 事業内容

##### 情報発信事業

##### ①全国コミュニティFM局への配信

毎週日曜日10分枠のFM放送局による全国ラジオ番組の制作・取材・放送。外部(主に移住者)、内部(地元在住者)双方の視点に重点を置いた取材を実施しました。

##### ②軽井沢特集タブロイド紙での情報発信

発信力の高い軽井沢特集タブロイド紙に佐久地域の観光情報を掲載し、軽井沢観光協会、軽井沢プリンスアウトレット、高速SA、銀座NAGANO等に配布しました。

##### ③観光ガイド「佐久平」増刷配布による情報発信

通常のイベント配布の他、ハイレール1375関連イベントでJRと連携した情報発信をしました。

##### ④イベントへの参加

北陸圏と首都圏で観光パンフレットや特産品をPRし、佐久地域への交流人口増加を目指しました。

##### ⑤Webの活用

佐久広域連合や各市町村の既存のWebページのほか、ラジオ番組参加者のブログやフェイスブック等で情報発信しました。



ラジオ番組制作の様子



観光イベントの様子

#### 事業効果

ラジオ配信では番組内で紹介したお店や観光施設に多くの人を訪れ、番組へメールや手紙等で好評価をもらうなど一定の効果がありました。またフェイスブックを通じて過去の放送内容をチェックできるようにして、リスナー以外にもPRできる仕組みづくりを進めたことで関心度の高い人と情報が共有され、効果的に佐久地域の魅力発信を行うことができました。

通常の観光イベントの他、信州DCに関連したイベントでパンフレットを配布することで、効果的に佐久地域のPRをすることができた。

**【目標・ねらい】**

- 外部からの視点(移住者等)を取り入れた番組制作と、そこから得られた魅力を観光イベントやパンフレットに取り入れ観光資源の磨き上げと発信を行う。

**※自己評価【B】**

**【理由】**

- ・事業目標を達成し、情報誌の配布が一層効果的に実施されるよう取り組んだ。

#### 今後の取り組み

地域外の人によりこれまで気付かなかった新しい価値が見つけれられることがあります。こうした観光資源を掘り起し、地域に根付く仕組みづくりに取り組んでいきます。また軽井沢エリアから佐久地域内の周遊につなげていく課題について、県や市町村等と連携しながら継続的に取り組んでいきます。